

達第七十二號

明治二十一年三月達第十三號吳佐世保鑲守府建築委員定員ヲ廢ス

明治二十二年四月一日

海軍大臣伯爵西鄉從道

九十二

海軍省

達第七十三號

明治十三年^甲二^丙第九十七號達明治十四年^甲十二^丙第六十九號達明治十五年^甲丙第八十一號達ヲ廢ス
明治二十二年四月四日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第七十四號

新年紀元節天長節ニ當リ東京各廳ノ武文判任官ニシテ各地出張ノ輩ハ各刺ヲ本省ニ差出シ府外在勤ノ輩ハ其所管長官又ハ所屬長ニ於テ適宜時限ヲ定メ參贊ヲ受ケ他ニ出張ヲ命シ又ハ在勤セシムル者アルトキハ各刺ヲ差出サシムヘシ
但生徒及卒等ニシテ正七位以下勳七等以下ヲ有

九十三

海軍省

スル者ハ總テ本項ノ例ニ據ル

明治二十二年四月四日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第七十五號

筆生監護用使給仕馭者砲丁官役中死傷シタルトキハ明治二十年^甲訓令第百十三號ニ據リ取扱フヘシ
但第四項第五項ハ適用スルコトヲ得ス

明治二十二年四月四日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第七十六號

明治二十一年^甲一^達第百二十九號武文官以下公務旅行手續第七項乙ヲ加フルコト左ノ如シ

明治二十二年四月四日 海軍大臣伯爵西郷從道
第七項乙 海軍參謀部長ハ水路部長ニ其部下准士
官以下ニ旅行ヲ命スルコトヲ委任スルコトヲ
得

達第七十七號

明治二十一年二月普第八五三號達中月末届ハ自今差
出スニ及ハス

明治二十二年四月四日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第七十八號

明治十九年^{十月}省令第百十四號中「候補生手當食料支給定規」トアルヲ「候補生日給食料支給定規」ト第一條中「手當金」トアルヲ「日給」ト改メ第二條中「前條手當ノ外」トアル七字及「増」ノ一字ヲ刪リ同年同月省令第百二十四號二十年^{八月}訓令第八十一號中「手當金」トアルヲ「日給」ト改ム

但二十二年度ヨリ本達ニ依リ支給スヘシ

明治二十二年四月九日 海軍大臣伯耆西郷從道

達第七十九號

本省ニ於テ支拂ヘキ軍事費臨時費ハ左ノ如シ

九十五

海軍省

- 一 參謀部造船會議兵器會議東京軍法會議其他直轄員等ノ俸給諸給及旅費
- 二 前項ノ諸應ニ係ル應費機密費
- 三 東京軍法會議ニ屬スル囚徒費
- 四 第二局ノ直接經營ニ係ル土木費營繕費
- 五 第二局ニテ直接契約スル軍艦製造費造船及修理費
- 六 第二局ニテ直接契約スル兵器水雷費
- 七 參謀部及第一局管轄員ニ係ル海外派遣員諸費
- 八 第一局所轄海外留學生費
- 九 第一局所轄依托學生費

十 第一局管轄員ニ係ル一時賜金及給助金
 部長局長會議議長主理經費ノ支出ヲ要スル事ヲ爲
 ントスル時ハ其施行若クハ契約決行前ニ會計局ニ
 協議スヘシ協議済ノ後ト雖モ増費ヲ要スルトキ亦
 同シ
 第二局ニ於テ第四第五第六項諸費ノ支出ヲ要スル
 トキハ其時々請求書へ明細ナル仕譯書及債主ノ要
 求書等ヲ添付シ會計局へ送付スヘシ
 明治二十二年四月九日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第八十號

小野濱造船所ニ於テ製造ノ砲艦ヲ大島ト命名セシ

九十六 海軍省

ル

但命名式相濟マテハ假名ト心得ヘシ

明治二十二年四月九日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第八十一號

高千穂浪速扶桑各定員表中軍醫少監主計少監ノ部
 左ノ通改正ス

明治二十二年四月九日 海軍大臣伯爵西郷從道

大軍醫	軍醫長	一
-----	-----	---

大主計	主計長	一
-----	-----	---

達第八十二號

軍法會議印高軍法會議ヲ除ク 陸軍判士長主理錄事官印
ヲ左ノ如ク定メ高等軍法會議判士長以下東京軍法
會議及其判士長以下ノ印ハ本省會計局ニ於テ調製
シ鎮守府軍法會議及其判士長以下ノ印ハ鎮守府ニ
於テ調製シ艦隊軍法會議判士長以下ノ印ハ艦隊司
令官ニ於テ調製シ交付セシム

明治二十二年四月十五日

海軍大臣伯爵西郷從道

形 雜

某軍法會議印
曲一尺一寸五分
分五寸一尺曲

某軍法會議判士長印
曲一尺七分
曲六分
錄事官印
分六尺曲

主理 艦隊軍法會議印
全上
氏名印
上全

主理 艦隊軍法會議印
全上
氏名印
上全

字體ハ楷書若クハ篆書ヲ用フヘシ字割ノ都合ニ因リ之字ヲ
補フハ苦シカラス

達第八十三號

艦營各廳監獄署 定員中艦內教授警吏ノ定員ヲ廢ス
明治二十二年四月十五日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第八十四號

明治十九年五月 要第三五三號訓令會計主務官中「會計
局整理課長」ヲ「會計局第一課長」會計局出納課長ヲ「會
計局第三課長」ト改ム

明治二十二年四月十五日

海軍大臣伯爵西郷從道

達第八十五號

明治十九年十月要第六五八號海軍下士卒拔擢進級取扱概則及十九年十一月要第七一七號海軍下士卒拔擢名簿製式ヲ廢ス

明治二十二年四月十七日

海軍大臣伯爵西郷從道

達第八十六號

海軍下士卒進級條例左ノ通改正ス

明治十九年省令第百十七号

明治二十二年四月十七日

海軍大臣伯爵西郷從道

海軍下士卒進級條例

第一條 海軍下士卒軍級ノ秩序ハ海軍武官官等表

九十八

海軍省

及卒職名等級表ニ依ル

第二條 凡ソ進級ハ超級ノ陞進ヲ許スコトナク又
 缺員ナキトキハ陞進セシムルコトナシ而シテ左
 ニ掲クル海上勤務若クハ陸上勤務ノ實役停年最
 下期限ヲ經タル者ニ非ザレハ陞進スルコトヲ許
 サス

實役停年 最下期限	海上勤務		陸上勤務	一等下士	二等下士	三等下士	一等卒	二等卒	三等卒	四等卒
	三年以上	二年以上								
	二年以上	二年六月以上	二年以上							
	二年以上	一年六月以上	二年以上							
	二年以上	一年六月以上	二年以上							
	二年以上	一年四月以上	二年以上							
	八月以上	六月以上	八月以上							
	八月以上	六月以上	八月以上							

第三條 下士ノ停年ヲ算スルニハ三月一日ヲ以テ

終期トシ卒ノ停年ヲ算スルニハ五月一日及十一月一日ヲ以テ終期トス

第四條 海上勤務ト稱スルハ軍艦ニ乗組ミ服務スルヲ云フ

第五條 海上勤務ヨリ陸上勤務ニ陸上勤務ヨリ海上勤務ニ轉シタル者ノ勤務日數ハ通算スルモノトス

海上勤務ヲ陸上勤務ニ通算スルトキハ勤務日數ノ三分一ヲ加ヘ陸上勤務ヲ海上勤務ニ通算スルトキハ三分一ヲ減スルモノトス

第六條 公務ニ原因セサル傷痍疾病ニ依リ上陸療養ノ日數ハ海上勤務ニ算入セス

第七條 収禁刑罰及歸休中ノ日數ハ實役停年ニ算入セス



第八條 敵ノ捕虜トナリ正當ノ理由アル者ハ其年月ヲ實役停年ニ算入スルコトヲ得

第九條 戦時ニ在テハ實役停年最下期限ヲ其半ニ減スルコトヲ得

第十條 下士卒進級ノ資格ヲ備フル者ト雖モ職務勉勵行狀方正ノ者ニ非サレハ進級セシムルコトヲ得ス

第十一條 定員及諸練習生ニ非サル下士卒ハ進級セシムルコトヲ得ス

第十二條 掌砲證狀若クハ運用術卒業證書若クハ掌水雷證狀ヲ有セサル水兵ハ兵曹ニ進級セシム

ルコトヲ得ス
但信子多幸ノ者及現令信子教養ノ者ハ此限ニ在ラス

今軍艦ニ乗組ミ

第十三條 機關手適任證書ヲ有セサル火夫練習工
卒業證書ヲ有セサル木工鍛冶ハ下士ニ進級セシ
ムルコトヲ得ス

第十四條 信號練習兵及五等卒ハ各其教育規則ニ
依リ進級セシム

第十五條 艦警長ハ毎年學術檢査終ルノ後准士官
下士ノ候補名簿ヲ製シ所管長官ニ出ス可シ下士
卒ヲ使役スル各艦長モ亦同シ

艦隊司令長官司令官ヲ除クノ外各所管長官ハ前
項ノ候補名簿ヲ其本籍鎮守府司令長官ニ送付ス

第十六條 各鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官
可シ 海軍省

百 海軍省

ハ各其部下ノ軍港司令官艦隊司令次官及學術檢
査委員長ヲ會同シテ艦警長各艦長ヨリ出シタル
候補名簿ニ就キ同級合格者ヲ合シ優劣ヲ比較シ
以テ進級ノ順序ヲ定メ准士官豫定候補名簿下士
決定候補名簿ヲ作ルモトス 決定候補名簿ハ鎮守府艦隊毎ニ區別シ
准士官ノ豫定候補名簿ハ鎮守府艦隊毎ニ區別シ
下士ノ決定候補名簿ハ各艦警長毎ニ區別シ之ヲ
作ル可シ

第十七條 下士ノ准士官ニ進級スヘキ者ノ豫定候
補名簿ハ鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官ヨ
リ海軍省第一局長ニ送付ス可シ第一局長ハ之ヲ
合シ停年順序ニ依リ決定候補名簿ヲ作ルモノト

海軍省
三三三三三三三三
三三三三三三三三

海軍省
三三三三三三三三
三三三三三三三三

本条は...
...

...

...

第十八條 決定候補名簿ノ効ハ次回ノ決定候補名簿調製迄ノモノトス

決定候補名簿ニ登載ノ後進級セシムル能ハサル事由ヲ生シタル者ハ之ヲ除名ス

第十九條 下士ノ進級ハ缺員アル毎ニ決定候補名簿ノ順序ニ從ヒ鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官之ヲ除任スルモノトス其准士官ニ缺員アリ下士ヨリ進級セシム可キトキハ本省ニ於テ除任ヲ行フ

第二十條 卒ノ進級ハ檢査合格者ニ就キ毎年六月



十二月ニ於テ鑑賞長各廳長之ヲ行フモノトス
第二十一條 左ノ場合ニ在テハ前諸條ノ例ニ依ルコトナク進級セシムルコトヲ得

一 敵前ニ在テ殊勳ヲ奏セシ者アル時

二 戦地ニ在テ人員多ク缺乏シ補除定規ヲ履ム能ハサル時

第二十二條 鎮守府司令長官艦隊司令長官司令官ハ典軍ノ日ニ方リ戦地ニ派遣スル艦長ニ下士進級補除ノ權ヲ假スコトヲ得

第二十三條 技工工夫ノ進級ハ本條例ニ依ルノ限ニ在ラス

附則

第二十四條 厨夫教育規則制定迄ノ間五等厨夫ニ
シテ六個月以上服役シタル者ハ海軍下士卒學術
検査規則ニ依リ検査ヲ行ヒ合格ノ者ハ此條例ニ
依リ進級セシム

達第八十七號

明治二十年^{月一}訓令第一號五等水兵教育規則第三條
及訓令第二號五等火夫教育規則第三條中區分ノ下
「シ艦内教授ヲ附」ノ七字ヲ删除ス

明治二十二年四月十七日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第八十八號

横須賀屯營條例浦賀屯營條例長浦水雷營條例ヲ廢
ス

明治二十二年四月十七日 海軍大臣伯爵西郷從道

正誤 ⑧

下士卒進級條例中「營」ノ字ハ總テ「團」ノ字ノ誤

明治二十二年四月十七日 海軍大臣官房主事

本年達第八十六号

明治二十二年四月十八日
海軍省



達第八十九號

新艦高雄ハ横須賀鎮守府所轄ト定メラレ舊横須
屯營附屬館山及舊浦賀屯營附屬石川ハ吳鎮守府
海練習艦ト定メラル

明治二十二年四月十八日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第九十號

海軍省

明治二十年^{十月}訓令第百十六號海軍下士卒學術檢
規則ヲ改正スルコト左ノ如シ

明治二十二年四月十八日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍下士卒學術檢查規則

百四 海軍省

第一條 下士卒ノ學術檢查ハ進級資格ヲ備フル者

ニ限り之ヲ行フ而シテ下士ノ學術檢查ハ毎年一
回卒ノ學術檢查ハ毎年二回トス

第二條 下士卒學術檢查ノ規格ハ別ニ之ヲ定メ改

正ヲ要スルトキハ檢查實施ノ期ヨリ六ヶ月前ニ
布達スルヲ例トス但六ヶ月ニ滿タスシテ學術檢

査ヲ行フトキハ舊規格ヲ用フルモノトス

第三條 下士ノ學術檢查ニハ艦長^{本艦長}團長^{本團長}委員長^{本委員長}ト爲

リ卒ノ學術檢查ニハ副長^{本副長}委員^{本委員}長^{本長}ト爲リ各艦^{本艦}各團^{本團}
毎ニ委員ヲ編制シ之ヲ行フヘシ

軍樂練習所軍樂員ノ學術檢查ニハ軍樂練習所長
委員長ト爲リ委員ヲ編制シテ之ヲ行フヘシ

海軍省令第七十七號

第四條 經團ニ於テハ士官ヲ以テ委員トシ准

下士ヲ以テ其補助員トス

一 監ニテ須要ノ委員ヲ得難キトキハ委員長

申ニ依リ所管長官適宜合併シテ之ヲ編制スヘ

軍樂練習所ニ於テハ軍樂員ヲ以テ委員ヲ編制

ヘシ

第五條 各廳勤務下士卒ノ検査ハ各其本籍海兵

ノ委員ヲシテ之ヲ行ハシム

内國出張中ノ下士卒ノ検査ハ出張地近傍海兵

ノ委員ニ托スヘシ

第六條 學術検査ノ時期ニ先テ内外國出張ノ下

卒ハ其出張前學術検査ヲ行フコトアルヘシ但檢

百五 海軍省

查ヲ行フ時進級資格ヲ備ヘサルモ下士卒進級條

例第三條ノ停年ヲ算スル定期ニ於テ進級資格ヲ

備フヘキ者亦同シ

第七條 委員長ハ検査終ルノ後成績表ヲ製シ所管

長官ニ出スヘシ又各廳勤務下士卒ノ検査成績ハ

其廳長ニモ通報スヘシ

達第九十一號

明治八年一月記三套第六號達及同年三月記三套第四十

號達入院患者面會方ノ件ヲ廢ス

明治二十一年四月十八日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第九十二號

橫須賀吳佐世保三鎮守府海兵團定員別表ノ通定
明治二十二年四月十八日 海軍大臣伯爵西郷從道

百六

海軍省

横須賀鎮守府海兵團定員表

合計三百六十一人	少主計	大主計	主計少監	少軍醫	大軍醫	軍醫少監	大機關士	機關少監	大尉	少佐	大佐	官名	
			主計長			軍醫長		機關長	分隊長	副長	團長	職名	
	二	一	一	二	一	一	一	一	八	一	一	人員	
	三三二二一三二一	三三二二一三二一	三三二一	二	一	一	三二一	機	二二二	二二二	二二二	官名	
	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	等主厨	職名
	被服掛	被服掛	被服掛				新兵教員	新兵教員	新兵教員	新兵教員	新兵教員	新兵教員	職名
	---	---	四三二	一	一	二	---	---	---	---	---	---	人員
	五	九	二	七	六	五	二	二	二	二	二	六	人員
	園刺裁	五三二一		三等四等看病夫	二等看病夫	一等看病夫	三等四等火夫	二等火夫	一等火夫	三等四等鍛冶	二等木工	一等木工	職名
	長從僕	四六五三		二	一	一	五	三	二	三	二	一	人員
六	十八		四	十	六	六	六	六	六	六	六	人員	

海軍省
明治二十二年四月十九日

改正

達第九十三號

下士卒定員補充規則左ノ通定ム

明治二十二年四月十九日 海軍大臣伯爵西郷從道

下士卒定員補充規則

第一條 軍艦下士卒ノ定員ハ各其本管鎮守府海兵

團在籍ノ者ヲ以テ補充スルモノトス

第二條 軍艦他鎮守府管内ニ在テ補充兵ヲ要スル

コト急ニシテ本管ヨリ之ヲ得ルノ暇ナキトキハ

便宜ノ鎮守府ニ就キ補充シ本管ノ補充兵ヲ得ル

カ又ハ役務ヲ終リタルトキ復歸セシム可シ

第三條 定員ニ缺員ヲ生スルトキハ必ス同級ノ者

ヲ以テ補充ス可シ但同級ノ者ナキトキハ次級ノ

百七 海軍省

者ヲ以テ補充スルコトヲ得

甲艦ノ兵員ヲ以テ乙艦ノ缺員ヲ補充シ若クハ交

換スルトキ亦同シ

第四條 定員ノ補充ヲ要スルトキハ艦長ヨリ本管

鎮守府海兵團長ニ請求ス可シ

第五條 海兵團長補充兵ノ請求ヲ受ケタルトキハ

屯營ノ定員ト員外トニ係ハラス同級者中最初ニ

入營シタル者ヨリ順次ニ乗艦ヲ命ス可シ但請求

ヲ受ケタル等級ノ者ナキトキハ次級ノ者ヲ以テ

之ニ充ツルコトヲ得

第六條 海兵團水雷隊官廨ノ定員補充モ前諸條ニ

準ズ 第七條 海兵團水雷隊官廨ノ定員補充モ前諸條ニ

海軍省

海軍省

明治二十二年四月二十日



達第九十四號

左ニ掲クル證狀證書ヲ有スル下士卒禁錮以上ノニ處セラレタルトキハ軍法會議ニ於テ臂章ト共之ヲ褫奪シ本籍ノ海兵團ニ送付ス可シ

掌砲證狀

掌水雷證狀

砲術教授適任證書

水雷術教授適任證書

運用術教員適任證書

明治二十二年四月二十日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第九十五號

百八 海軍省

掌砲兵掌水雷兵ノ名稱ヲ併有スル者ノ加俸ハ其多額ニ就キ支給ス

明治二十二年四月二十日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第九十六號

明治十九年^{六月}省令第五十六號砲術練習艦條例中第三十二條但以下及第六條第七條第三十三條第三十五條第三十六條全文同年^{七月}省令第八十三號海軍信號練習兵概則第三條中艦内教授二名ノ六字二十年^{六月}省令第十五號運用術教員概則中第四條以下各條同年^{六月}訓令第六十號水雷術練習艦教則第十條但以下^{八月}訓令第八十三號掌砲兵掌水雷

兵取扱規則ヲ廢ス

明治二十二年四月二十日

海軍大臣伯爵西郷從道

正誤

達第九十二號別表横須賀鎮守府海兵團定員表中三等水兵百十四ハ三等四等水兵百十四ノ誤

明治二十二年四月二十日

海軍大臣官房主事

百九

海軍省

達第九十七號

海軍病院條例ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治二十二年四月二十二日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍病院條例

第一條 海軍病院ハ鎮守府衛生會議ニ屬シ鎮守府所在ノ地ニ之ヲ置ク

第二條 鎮守府衛生會議議長ハ鎮守府衛生會議議員及海軍病院軍醫以下ヲ指揮シテ醫務ヲ統理ス

第三條 鎮守府衛生會議議員タル軍醫大監ハ治療掛ノ長トシテ患者治療ノ事ヲ掌リ會議議長事故アルトキハ其代理ヲ爲ス

百十 海軍省

第四條 鎮守府衛生會議議員タル軍醫少監ハ治療掛ノ副長トシテ掛長ヲ助ク

第五條 鎮守府衛生會議附藥劑官ハ調劑掛ノ長トシテ調劑分析ノ事ヲ掌ル

第六條 海軍病院ニ軍醫若干人ヲ置ク其數ハ鎮守府所管ノ兵數ニ應シ之ヲ定ム

第七條 海軍病院軍醫ハ衛生會議議長ノ指揮ヲ受ケ患者治療ノ事ヲ掌リ又各所ニ派出シテ醫務衛生ノ事ニ服ス

第八條 鎮守府主計部計算課派出員ハ海軍病院會計庶務ヲ掌ル

第九條 海軍病院會計及庶務ハ主計部長計算課

海軍病院會計及庶務ハ主計部長計算課
衛生會議議長ノ名ニ依リ處分ス

海軍病院條例

三十三號
百六十二號

本館
三十三號
百六十二號

長ニ於テ統率スルニ雖モ日常ノ事件ハ計算課派出員ニ委任シ衛生會議議長ノ指示ニ依リ定規ニ從ヒ處分セシムヘキモノトス

第十條 海軍病院ニ於テハ軍醫候補生及看護手看病夫ノ教育ヲ爲ス

第十一條 海軍病院ニハ定員トシテ看護手主厨看病夫若干人ヲ置ク

第十二條 看護手看病夫ハ衛生會議議長ノ命ヲ受ケ看護調劑ノ事ニ服ス

第十三條 主厨ハ計算課派出員ノ命ヲ受ケ庖厨ノ事ニ服ス

第十四條 軍醫以下ハ衛生會議議長ノ命アルトキ

百十一
海軍省

ハ會議ニ關スル事務ニ服スヘキモノトス

第十五條 艦營其他各所ニ要スル藥品療用品ハ海軍病院ヨリ供給ス

第十六條 計算課派出員ハ藥品療用品供給ノ事務ヲ掌リ藥劑官ハ藥品療用品ノ保管及現品供給ノ事ヲ掌ル

第十七條 看護手看病夫ハ藥劑官ノ命ヲ受ケ藥品療用品保管供給ノ事ニ服ス

達第九十八號

明治二十一年十一月十二號海軍軍醫官服務通則ヲ鎮守府衛生會議議長艦團校廠軍醫長軍醫服

務通則ト改稱シ通則中左ノ邊改正ス

明治二十二年四月二十二日 海軍大臣伯爵西郷從道

〔衛生部長〕ヲ總テ中央衛生會議議長ト改ム

〔軍醫部長〕ヲ總テ鎮守府衛生會議議長ト改ム

〔第一章〕ノ下ノ〔軍醫監〕ヲ鎮守府衛生會議議長ト改ム

✓ 第一條〔軍醫監軍醫部長トナルキ〕ノ十一字ヲ〔鎮守府衛生會議議長〕ノ九字ニ改ム

第一條以下第十六條マテノ〔所屬長〕ヲ〔所管長〕ト改ム

✓ 第七條ノ會議ノ三字ヲニ諮問ト改ム

百十二 海軍省

第八條〔艦船〕ノ字ノ上ニ〔病院〕ノ二字ヲ加フ

第十條全文ヲ刪除ス

第十七條第十八條全文ヲ刪除ス

第二章ノ下〔軍醫〕ノ下ニ〔長〕ノ字ヲ加フ

第十九條〔軍醫長〕ノ上ノ〔軍醫〕ノ二字及其下ノ〔トナル〕ノ四字ヲ刪除ス

第二十條文尾ノ〔ス〕ヲ〔シ〕ニ改メ下ニ〔艦隊艦船及鎮守府ニ屬セサル校廠等ニ在テハ直チニ中央衛生會議議長ノ監督ニ屬ス〕ノ三十七字ヲ加フ

第二十四條又〔艦隊ニ〕以下ノ二十九字ヲ刪除シ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ需求表艦隊艦船及鎮守府ニ屬セサル校

憲ニ在テハ最近ノ鎮守府衛生會議議長ニ出ス
ハシ

第三十二條軍醫部長ノ審査ヲ經ノ九字及「但」以下
二十三字ヲ删除ス

第三十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ報告艦隊艦船及鎮守府ニ屬セサル校廠
ニ在テハ中央衛生會議議長ニノミ報告スヘシ
第四十三條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ報告艦隊艦船ニ在テハ中央衛生會議議
長及最近鎮守府衛生會議議長ニ出スヘシ

第五十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

前條ノ診斷艦隊艦船ニ在テハ最近鎮守府衛生

會議議長ノ臨監ヲ得テ之ヲ行フヘシ若シ遠隔
ノ地ナルトキハ自己ト同等以上ノ軍醫二人ノ
立會ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得東京ノ校廠等ニ
在テハ中央衛生會議議員ノ臨監ヲ得テ之ヲ行
フヘシ

第五十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ點檢ハ艦隊艦船ニ在テハ最近鎮守府衛
生會議議長之ヲ行フヘシ

第八十條「鎮守府」ノ字ヲ除ク

第八十一條全文ヲ左ノ通改正ス

第二十五條第三十九條第五十六條第七十三條
第七十六條ニ依リ出ス報告艦隊艦船ニ在テハ

直チニ中央衛生會議議長ニ出スヘシ第二十六條第二十九條第五十條第五十五條ニ依リ出ス報告及第五十四條ニ依リ出ス病歴書第六十一條第六十二條ニ依リ出ス年報艦隊艦船及鎮守府ニ屬セサル校廠等ニ在テハ直チニ中央衛生會議議長ニ出スヘシ

達第九十九號

明治二十一年四月二十二日 達第百六十三號海軍病院通則ヲ海軍病院軍醫部員服務通則ト改稱シ通則中左ノ通改正ス

明治二十一年四月二十二日 海軍大臣伯爵西郷從道

百十四 海軍省

〔衛生部長〕ヲ總テ〔中央衛生會議議長〕ト改ム

〔院長〕ヲ總テ〔鎮守府衛生會議議長〕ト改ム

第一條全文ヲ刪除ス

第二條第三條〔院內諸員〕ノ四字ヲ〔軍醫監以下〕ト改

メ〔院務〕ヲ〔醫務〕ト改ム

第四條ノ〔軍醫部長〕ヲ〔中央衛生會議議長〕所屬長チ

〔所管長〕ト改ム

第五條〔軍醫部長及〕ノ五字ヲ刪除ス

第六條全文ヲ刪除ス

第七條但書シ一ハ軍醫部長ニ出ノ九字ヲ刪除ス

第八條ノ〔所屬長〕ヲ〔所管長〕ト改ム

第九條〔軍醫部長〕ヲ〔中央衛生會議議長〕ト改ム

第十條「所屬長」ヲ「所管長」ト改ム
 第十一條「軍醫部長」ヲ「中央衛生會議議長」ト改ム
 第十二條全文ヲ刪除ス
 第十五條第十六條「軍醫」ノ下ニ「監以下」ノ三字ヲ加
 フ
 第二十五條乙ヲ加フルコト左ノ如シ
 治療掛副長ハ治療掛長ヲ助ケ治療掛長事故
 ルトキハ其代理ヲ爲ス
 第四十條「治療掛長」ノ下ニ「副長」ノ二字ヲ加フ
 第四十一條第四十二條第四十四條全文ヲ刪除ス

達第百號

百十五 海軍省

海軍衛生會議條例被定タルニ依リ鎮守府官制第三
 十九條主計部給與課所掌事務第二項ハ藥品醫療器
 械ニ關シ衛生會議議長ヨリ司令長官ニ具申何フ
 タルトキノ事務取扱ト相心得藥品療用品供給ノ事
 ハ需求者ヨリ直チニ海軍病院ニ請求セシムル義ト
 心得ヘシ

明治二十二年四月二十二日 海軍大臣伯爵西鄉從道

達第百一號

海軍造兵廠定員及同廠監護用使給仕砲丁定員別表
 ノ通定ム

明治二十二年四月二十二日 海軍大臣伯爵西鄉從道

本軍造兵廠定員別表

海軍造兵廠定員表

長 大佐		科 課 名	科 長	主 幹	課 長	判 任	官	雇 員 最 上 限
專 員 屬	一	製 造 科	科 長 大佐	主 幹 技師或ハ技士	一	判 任	官	三
取 締 掛 屬	一	檢 査 科	科 長 少佐或ハ技師	主 幹 大尉或ハ技士	三	判 任	官	二
		會 計 課	課 長 主計少監或ハ大主計	主 幹 主計少監或ハ大主計	一	判 任	官	二
		材 料 課	課 長 屬	主 幹 上等兵曹	二	判 任	官	二
		倉 庫 課	課 長 屬	主 幹 技師	七	判 任	官	二
				主 幹 工夫長	廿四	判 任	官	二
				主 幹 兵隊保衛手	十七	判 任	官	二
合 計	百二十六人							

海軍造兵廠監護用使給仕砲丁定員表

職 名	監 護 用 使 給 仕 砲 丁
最 上 限 定 員	二十四
	八
	七
	三十三

百十六 海軍省

達第百二號

海軍火藥工廠定員及同工廠監護用使給仕砲丁定員別表ノ通定ム

明治二十二年四月二十二日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍火藥工廠定員表

長 大佐		科 課 名	科 課	長 判 任 官	雇 員 最 上 限
專 員 屬	一	製 造 科	科 長 技師或ハ技士	判 任 官	二
取 締 掛 屬	一	檢 査 科	科 長 技師或ハ技士	判 任 官	二
		會 計 課	課 長 主計少監或ハ大主計	判 任 官	一
				判 任 官	四
				判 任 官	二
				判 任 官	十一
				判 任 官	九
				判 任 官	十二
				判 任 官	六
合 計	五十三人				

備考 科課ノ外ニ軍醫一人一等看護手一人一等看護夫一人ヲ選ク

海軍火薬工廠監護用使給仕砲丁定員表

職名	監護用	使給仕	砲丁
最上限定員	四十二	五	三
			二

百十七

海軍省

達第百三號

海軍技術會議定員別表ノ通定

明治二十二年四月二十三日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍技術會議定員表

議長 少將	委員	主任	判任	官	官	雇員最上級
	幹事	佐官政大 技部上長官	書記	一	四	學生 二
合計 十六	副幹事	大尉政大 技部士官	書記	一	四	學生 二
	委員ハ佐官補佐部上長官士官ヲ以テ之ニ充テ定員ナシ					

達第百四號

海軍中央衛生會議定員及海軍軍醫學校定員別表ノ通定

明治二十二年四月二十三日 海軍大臣伯爵西郷從道

百十八 海軍省

海軍中央衛生會議定員表

議長 軍醫監	議員書記會計主務	判任	官	雇員最上級
	議員	軍醫監 兼務	三	六 學生 二
合計 十八人 内從務三人	議員兼書記	大軍醫	一	二
	會計主務	一	二	器械手 一

備考 右職員ノ外藥劑監又ハ藥劑官一人ヲ置ク

海軍軍醫學校定員表

校長 軍醫大監	教官	軍醫監大軍醫 教授	三	三	一
	監事	軍醫監大軍醫 大藥劑官	三	三	一
合計 八人	教官ハ定員ノ外本職アル者ヲ以テ兼務セシムルコトヲ得				

達第百五號

海軍會計監督部定員別表ノ通定

明治二十二年四月二十三日 海軍大臣伯爵西鄉從道

海軍會計監督部定員表

部名	部長	部員	監督官	員	雇員最上限
中央會計監督部	部長 主計總監	部員 主計大監	—	三	二
橫須賀鎮守府會計監督部	部長 主計大監	部員 主計少監	—	三	二
吳鎮守府會計監督部	部長 主計大監	部員 主計少監	—	三	一
佐世保鎮守府會計監督部	部長 主計大監	部員 主計少監	—	三	一
各廳會計官	小野濱造船所會計監督官 一部員ヨリ兼務セシム	小野濱造船所會計監督官 一部員ヨリ兼務セシム	吳鎮守府會計監督部員ヨリ兼務セシム	吳鎮守府會計監督部員ヨリ兼務セシム	佐世保鎮守府會計監督部員ヨリ兼務セシム
合計	三十一人	八人	内業務四人		

百十九 海軍省

達第百六號

明治八年九月九日記三套第百十一號達海軍生徒志願者通學中晝食料支給ノ件ヲ廢ス

明治二十二年四月二十三日 海軍大臣伯爵西鄉從道

達第百七號

水路部處務細則左ノ通定ム

明治二十二年四月二十三日 海軍大臣伯爵西鄉從道

水路部處務細則

代理及分課

第一條 水路部長事故アルトキハ特ニ代理ヲ命ス

ルトキノ外先任佐官其事務ヲ代理スヘシ
第二條 先任佐官部長ノ事務ヲ代理スルトキハ其
指示ニ從ヒ委任セラレタル事務ヲ處理スヘシ而
シテ上申伺水路告示及各國水路部へ通信等ハ部
長ノ各ヲ以テ發付スヘシ

第三條 測量科長出張其他事故アリテ數十日間不
在ノトキハ班長班長在ラザルヲシテ其主務ヲ代
理セシムヘシ

但班長測量士悉ク不在ノトキハ部長ノ見込ヲ
以テ部内ノ將校ヲシテ代辦セシムルコトヲ得
第四條 圖誌科長事故アリ數十日間不在ノトキハ
先任ノ科僚ヲシテ代理セシムヘシ



第五條 部長專屬員ハ部長又ハ部ノ各ヲ以テスル
文書ノ接受發送ヲ掌リ又部長ノ命スル事務ニ服

第六條 各科課屬員ハ各上官ノ指揮ヲ受ケ其事務
ニ服ス

第七條 測量科勤務ノ少技士候補生ハ各班ニ分屬
シテ測量士ノ事業ヲ助ク

第八條 測量科ノ下士卒ハ各班長ニ分屬シ屬ハ科
長ニ屬ス

第九條 測量科ノ技手ハ電信經度測量ヲ助務シ及
測器ノ保存ヲ掌ル

第十條 測量科器械手ノ執務時間ハ第十七條ニ同

シ

第十一條 圖誌科ニ左ノ五掛ヲ置ク

一 圖書掛

二 製圖掛

三 編誌掛

四 彫刻掛

五 印刷掛

第十二條 圖書掛ハ左ノ事ヲ掌ル

一 條例第十二條ノ第五以下第十二ニ至ル各事項

二 圖書ノ目錄調製及銅版石版ノ保存

三 諸物品受拂

第十三條 製圖掛ハ左ノ事ヲ掌ル



百二十一

海軍省

一 條例第十二條ノ第一項

二 淨寫

三 補寫

四 編畫

五 寫真

第十四條 編誌掛ハ左ノ事ヲ掌ル

一 條例第十二條ノ第二項三項

二 内外國ヨリ送附セル水路雜誌ヲ校正刊行ス

ルコト

第十五條 彫刻掛ハ左ノ事ヲ掌ル

一 經畫方線

二 海岸線

三 筆測字

四 和洋文字

五 砂點布點

六 山脈

七 石版刻寫

第十六條 印刷掛ハ左ノ事ヲ掌ル

一 銅版印刷

二 石版印刷

三 鍍版

四 表裝

第十七條 製圖彫刻印刷掛ノ執業時間ハ一週ノ執

務時間ニ二時間ヲ増加ス

百二十二 海軍省

第十八條 條例第十二條ノ第四項ハ科長科僚之ヲ

施行ス

第十九條 科僚一名ハ左ノ事ヲ掌ル

一 條例第十二條ノ第一項

二 條例第十二條第四項ニ據リ海圖ニ大改正或

ハ小改正ヲ加フル事

三 製圖手及彫刻手ヲ指揮シテ其事業ニ服セシ

ムル事

第二十條 科僚一名ハ左ノ事ヲ掌ル

一 條例第十二條ノ第二第三項及第四項ノ誌類

改補

二 編誌掛員ヲ指揮シテ其事業ニ服セシムル事

第二十一條 科僚ハ第十九條第二十條ニ掲クル外
 其主務ニ關スル圖書掛ノ事務ヲ主査ス
 第二十二條 圖書掛及編誌掛ハ屬製圖掛ハ製圖手
 彫刻掛ハ彫刻手印刷掛ハ技生ヲ以テ之ニ充ツ
 第二十三條 彫刻掛ハ彫刻手上席ノ者ヲ以テ該掛
 長トス
 第二十四條 圖書掛ハ科長及科僚ノ命ヲ受ケ其事
 務ニ服ス
 第二十五條 製圖掛及編誌掛ハ各主務ノ科僚ニ屬
 シ其指揮ヲ受ケ事業ニ服ス
 第二十六條 上席製圖手ハ主務科僚ノ命ヲ受ケ印
 刷掛ヲ支配ス

第二十七條 印刷掛ハ上席製圖手ノ命ヲ受ケ其業
 務ニ服ス
 第二十八條 計算課ニハ掛ヲ置カス左ノ事項ヲ分
 擔セシム
 一 歳入歳出ノ豫算ヲ編製シ給與納拂ノ當否ヲ
 査閲シ及決算書ヲ調理スル事
 二 收支ノ傳票ヲ調製シ支拂切符及告知書等ヲ
 發行スル事
 三 收支ニ係ル諸報告書ヲ調製シ及該諸帳簿ヲ
 整理スル事
 四 郵便電信料等ノ受拂ヲ爲ス事
 五 部内ノ財産ヲ調査シ該報告ヲ調製スル事

六 物品購買圖誌及不用品拂下ケ等及該事ニ關スル帳簿ヲ整理スル事

七 部内各所修繕及被服給與ニ關スル事

八 經費ニ關スル報告統計整理ノ事

第二十九條 計算課受拂ニ用ユル官印豫備金及抵當物ハ課長之ヲ監守ス

第三十條 監護用使給仕ハ計算課ニ於テ之ヲ管轄ス

文書取扱

第三十一條 部長又ハ水路部宛ノ書類ハ專屬員之ヲ受領シ件名簿ニ登記シ部長ノ査閲ニ供スヘシ
部長親展書類ハ部長ニ呈シ部長ヨリ下付アルト

キハ其意ヲ承ケ之ヲ處理スヘシ

第三十二條 部長ハ文書ヲ査閲シ其各科課ノ主務

ニ屬セサルモノハ專屬員ニ意ヲ授ケテ之ヲ處理セシメ各主務ニ屬スルモノハ各主務ニ送付ス

第三十三條 科課長ハ部長ヨリ下附ノ文書ヲ審査

シ其上申照會等ヲ要セサルモノハ處分ノ後結了件簿ヲ以テ五日以内ニ專屬員ニ通知シ其處分ヲ要スルモノハ成ルヘク其日ニ所定ノ野紙ニ各文案ヲ附シ之ヲ部長ニ出スヘシ其即時處辨シ難キモノハ其由ヲ附箋シ檢印ノ後部長ノ檢印ヲ受クハシ

第三十四條 各主務ニ於テ領受セル文書中主務外

ト認ムルモノアルトキハ其主務ヲ認ムル者ニ面
議スヘシ議合ハサルトキハ部長ニ決裁ヲ請フヘ
シ

第三十五條 事ノ連帶ニ涉ル文書ハ主務ノ科課ニ
於テ立案シ連帶科課回付ノ年月日ヲ記シ之ヲ連
帶科課ニ送付シ同科課ニ於テハ主務長檢印ノ後
之ヲ部長ニ出スヘシ

第三十六條 各科課ヨリ差出ス文書ハ各主務ニ於
テ淨書シ專屬員ヘ送付スヘシ專屬員ハ之ニ番號
ヲ附シ件名ヲ簿冊ニ登記シ成ルヘク其日ノ内ニ
發送シ其原案ニ番號及ヒ發送月日ヲ記入シ各主
務科課ニ返付スヘシ

第三十七條 諸文書ノ保存ハ各其主務ニ於テ保管
スヘシ

但別ニ成規アルモノハ此限ニ非ス

第三十八條 處務參照ノ爲メ各主務ニ於テ保存ス
ル文書ノ類ヲ閱覽セントスルトキハ其室ニ就テ
之ヲ見ルヘシ若シ各主務長必要ニ依リ他室ニ携
帶スルトキハ必ス其日ノ中ニ返付スヘシ

第三十九條 文書ヲ受授スルニハ主務者携帯スルモ
ノ、外ハ第三十二條第三十三條第三十五條第三
十六條ノ場合ニ限り送受票ヲ用ユヘシ

正誤

達第九十七號海軍病院條例第七條「病院」ノ下ニ「附」ノ
一字ヲ脱ス
達第百二號海軍火藥工廠定員表ノ表末ニ左ノ一欄
ヲ脱ス

備考 科課ノ外ニ軍醫一人一等看護夫一人ヲ置ク

明治二十二年四月二十三日 海軍大臣官房主事

達第百八號

明治十九年省令第五十六號砲術練習艦條例中第十
三條ヲ廢ス

明治二十二年四月二十四日 海軍大臣伯爵西郷從道

正誤 

達第百三號海軍技術會議定員表中合計十人ハ十一
人ノ誤

明治二十二年四月二十四日 海軍大臣官房主事

達第百九號

海軍參謀部各課將校服務概則海軍大臣傳令使海軍參謀部長傳令使服務概則左ノ通定ム

明治二十二年四月二十六日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍參謀部各課將校服務概則

第一條 各課長ハ部長ノ命ヲ受ケ部務ヲ整理シ課員以下ノ勤惰能否ヲ監視ス

第二條 各課員ハ課長ノ命ヲ受ケ各自分擔ノ課務ニ服ス

第三條 課長不在ノトキハ先任課員其代理ヲ爲スヘシ

百二十八 海軍省

第四條 各國公使館附及參謀部所轄ノ外國派遣將校ニ係ル一切ノ事務ハ第三課ニ於テ處辨スヘシ

第五條 第一課ニ於テハ出師準備作戰計畫海上運輸ノコトヲ掌トル其分管ノ要目左ノ如シ

出師計畫

- 一 出師準備ノ規定及毎年度出師計畫
- 一 兵器其他軍需品現狀ノ調査
- 一 兵員及兵器彈藥其他軍需品補充法ノ規定
- 一 海軍軍人軍屬ノ統計調査
- 一 作戰計畫
- 一 艦隊ノ編制艦船ノ配置及發差
- 一 艦船現狀ノ調査

- 一 艦船及兵器ノ種類撰定
 - 一 信號法ノ改良
 - 一 海軍戰術ニ關スル操法ノ改良
 - 一 大演習ノ規畫及其結果ノ調査
 - 一 海上運輸計畫
 - 一 兵馬軍須運輸規則及訓令ノ制定
 - 一 兵馬軍須運輸ニ供スル船舶ノ調査
- 第六條 第二課ニ於テハ海防計畫ノコトヲ掌トル
其要目左ノ如シ
- 海防計畫
 - 一 海岸防禦ノ方法
 - 一 防禦ニ關スル水雷艇及水雷等ノ撰定

- 一 防禦方法ノ試験及其結果ノ調査
 - 一 軍港及要港ノ撰定
 - 一 兵畧ニ關スル沿岸水路ノ調査
 - 一 兵畧ニ關スル沿岸測量ノ計畫
- 第七條 第三課員ニ於テハ内外國諜報ノコトヲ掌ル其要目左ノ如シ
- 一 祕密諜報
 - 一 通常諜報
 - 一 特別諜報
 - 一 兵事上必要ナル書類翻譯編纂
- 第八條 右ノ如ク課務ヲ分ツト雖モ其事彼是密接ノ關係アルヲ以テ各課長ハ交互審議ヲ遂ケ計畫

ノ一致ニ注意スヘシ

第九條 各課ハ鎮守府及艦隊ノ參謀部ト脈路ヲ通シ内外ノ情况ヲ詳カニシ以テ計畫ノ周到ヲ期スヘシ

第十條 各課ノ參謀將校ハ部長ノ命ニ依リ水路地理及政誌ニ關スル事件ノ實地調査ニ從事シ又演習試驗等ニ從事シ若クハ其實視ヲ爲スコトアルヘシ

第十一條 臨時特派セル課員ノ特別諜報ハ課長之ヲ審査調印シ部長ニ呈スヘシ

第十二條 鎮守府及艦隊ノ參謀部並ニ各地派遣參謀將校等ノ諸報告ハ課長先ツ主務ノ課員ニ付シ

百三十 海軍省

調査捺印セシメ更ニ課長捺印ノ上部長ニ呈シ部長一閱ノ後之ヲ本課ニ收ムルモノトス

第十三條 課報中軍制戰鬪歴史地理政誌等ニ關スル報告及圖籍ノ類ハ課長先ツ主務ノ課員ニ付シ熟閱照査捺印シ更ニ課長捺印ノ上之ヲ部長ニ呈シ部長一閱ノ後主務ノ課員ニ移シ網羅編纂シ以テ海軍ノ兵誌ニ充ツルモノトス

第十四條 艦船砲銃及ヒ其他ノ軍器ニ係ル進歩改良等苟モ研究上參考トナル可キモノハ部長閱見ノ後速ニ之ヲ印刷刊行シ其事件ニ關係ヲ有スル各廳艦團ニ送付スルモノトス

第十五條 課長ハ諸報告中部外ニ於テ參考上必要

ノ件アリト認メ之ヲ回覽ニ供セントスルトキハ
其廳ヲ示シ之ヲ傳令使ニ移スヘシ
第十六條 各課長ハ課務ノ進捗ヲ謀ル爲メ臨時課
員ヲ會シ諸事ヲ諮議シ又會議ヲ開クヘシ
第十七條 凡ソ部長ヨリ下問ノ事項ハ課長先ツ主
務ノ課員ニ諮詢シ而後之ニ命シテ意見案ヲ出サ
シメ可決ノ上更ニ意見簿ニ登記捺印セシメ課長
捺印ノ上之ヲ部長ニ呈ス又下問ノ本書ハ欄外部
名小印ノ側ニ課印ヲ捺シテ意見簿ト共ニ之ヲ部
長呈スヘシ
第十八條 凡ソ部務ニ關シ諸向ニ請求照會申令ス
ヘキ事項ハ主務ノ課員其移牒ノ原案ヲ提出シ課

長可決ノ上更ニ主務ノ課員及課長捺印シテ之ヲ
部長ニ呈スヘシ
第十九條 其移牒並ニ意見ノ機務ニ關シ秘密ニ屬
スルモノハ課長直ニ部長ニ面陳シ命ヲ待テ處
理スヘシ
第二十條 部長伺出指令ヲ仰クヘキ事項ハ先ツ主
務ノ課員ニ於テ伺案ヲ作り課長可決ノ上更ニ伺
簿ニ登記シ主務ノ課員及課長捺印シテ部長ニ呈
スヘシ
第二十一條 第三課ニ於テ接受セシ海外派遣將校
其他ヨリノ課報ハ分擔ノ課員先ツ之ヲ調査シ存
記録ニ記入捺印シ領收證ヲ發スヘシ

第二十二條 第三課ハ參謀部ノ文庫ヲ主管シ圖書ノ出納保存ニ關スル一切ノ事務及ヒ圖書印刷ノコトヲ掌ル

第二十三條 第三課長ハ編纂及ヒ文庫ニ従事スル屬員ヲ統轄シ其勤怠能否ヲ監視ス

第二十四條 前條ノ如ク各主務ヲ定ムルト雖モ時宜ニ依リ部員相互ニ補助シテ其事務ヲ取扱フヘシ

海軍大臣傳令使海軍參謀部長傳令使服務概則

第一條 海軍大臣傳令使海軍參謀部長傳令使ハ參謀部内ニ在ツテ大臣部長ニ專屬シ大臣部長ノ命

ヲ受ケ庶務ヲ管掌ス

第二條 傳令使ハ上裁書類ノ送達ヲ掌リ部長ノ名ヲ以テスル通常ノ往復ニシテ委任セラレタル事件ハ之ヲ施行シ其緊要ト認ムル件ヲ部長ニ開申スヘシ

第三條 傳令使ハ附屬屬員ヲ統轄シ其勤惰能否ヲ監察シ庶務ニ服セシム

第四條 傳令使ハ本部ニ到來スル通常ノ文書ニシテ各課ニ關スルモノハ其主務ノ課ニ移シ其他ノ往復ハ之ヲ處辨シ各課ヨリ發送スル文書ハ之ヲ取扱ヒ一定ノ番號ヲ附シ件名簿ニ記入スヘシ

第五條 到來ノ封書部長ノ名宛ナルモ親展祕報ノ

文字ナキモノハ傳令使之ヲ開クニイテ得

第六條 各課ヨリ上申意見簿ヲ以テ進達ノ書類ハ部長捺印ノ上件名簿ニ登記シ大臣ニ呈シ或ハ指名ノ廳ヘ送附スヘシ

第七條 諸命令達及ヒ諸向ヨリノ報告届出等ハ傳令使調印ノ上部長ニ呈シ其事項ニ從ヒ主務ノ課ニ移シ或ハ部内一般ニ回覽セシムヘシ

第八條 外國派遣ノ公使館附將校其他在外諸員ヨリノ報告書ハ直ニ第三課ニ移スヘシ

第九條 外國派遣將校ニ關スル一切ノ書類ハ第三課ニ移シ處辨セシム其往復ニ係ルモノハ傳令使ニ於テ之ヲ取扱フヘシ



第十條 傳令使ハ屬員ヲシテ第二條ノ往復文書ノ起草淨書及部内軍人軍屬ノ名簿履歷ヲ掌理シ又諸條例其他一般ノ勅閣省令等ノ書類ヲ蒐集シ其改正増補ニ係ルモノハ記入シテ沿革ヲ詳ニシ各課ノ需ニ應シ查出シテ其諮問ニ應セシムヘシ

明治三十三年四月二十六日
ニテ本号ヲ廢止



達第百十號

明治十三年^{十月}丙第七十八號所轄官用地取扱概則
ノ通改正ス

但第二海軍區内ノ地所及第四海軍區ノ内越中
西ノ分ハ吳鎮守府開廳ノ上該府ニテ管理シ第
海軍區ノ地所ハ佐世保鎮守府開廳ノ上該府ニ
管理シ第五海軍區内ノ地所及第四海軍區ノ内
後以東ノ分ハ横須賀鎮守府ニ於テ管理スヘシ
明治二十二年四月二十六日 海軍大臣伯爵西郷從道
海軍所轄官用地取扱概則

管理ノ區別

第一條 海軍所轄ノ官用地及借地ハ東京府下ニ在

百三十四
海軍省

ルモノヲ除クノ外海軍區ノ區域ニ據リ各鎮守府
ニ於テ管理シ其東京府下ニ在ルモノハ第二局ニ
於テ管理ス

第二條 海岸ニアラサル地所ハ最近ノ鎮守府ニ於
テ管理シ清國及朝鮮國ニ在ル借地ハ佐世保鎮守
府ニ於テ管理シ布哇國ニ在ル借地ハ横須賀鎮守
府ニ於テ管理ス

第三條 作業廳ニ於テ使用スル地所ハ使用中該廳
ヲシテ管理セシム

需用ノ順序

第四條 各廳ニ於テ所轄官用地ヲ使用セントスル
トキハ其必需ノ要點ヲ約記シテ之ヲ管理スル府

局ニ請求スヘシ

第五條 甲廳ニ於テ使用スル地所ヲ乙廳ニ於テ使用セントスルトキハ乙廳ヨリ甲廳ニ協議ノ後其必需ノ要點ト其承諾ヲ得タル旨トヲ約記シテ之ヲ管理スル府局ニ請求スヘシ

第六條 府局ニ於テ第四條第五條ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ支障ナクハ受授結了ノ上其事由ヲ届出ツヘシ

第七條 所轄官用地ヲ作業廳ニ於テ使用セントシ又ハ作業廳ニ於テ使用ノ地ヲ各廳ニ於テ使用セントシ若クハ各廳ニ於テ使用ノ地ヲ作業廳ニ於テ使用セントスルトキモ亦第四條第五條ニ據リ

府局ニ請求スヘシ

第八條 府局ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ支障ナクハ其事由ヲ具シテ伺出ツヘシ

買收ノ順序

第九條 各廳作業廳モ包含スニ於テ所轄官用地外ノ地所ヲ要望スルトキハ其所要地ノ畧圖ヲ作り之ニ地名番號坪數並現所有ノ人名若クハ所管ノ廳名ヲ書シ且其必需ノ要點ヲ約記シテ之ヲ管理スヘキ府局ニ請求スヘシ

第十條 府局ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ支障ナクハ先其要旨ヲ伺定シ所有主



ニ示談ヲ遂ケ賣上承諾書ヲ徴シ實測地圖ヲ作り
地方廳ノ承認書ヲ添テ更ニ伺出ツヘシ但其地所
官用又ハ官有ナルモ地方廳ノ所管ナルトキハ前
段ニ準シ該廳ノ承認書ニ實測圖ヲ添テ伺出ツヘ
シ
府局ニ於テ要望スルトキモ亦前項ノ手續キニ據
ルヘシ

借用ノ順序

第十一條 各廳作業廳モニ於テ所轄官用地外ノ地
包含ス所ヲ借用セントスルトキハ其要望廳ニ於テ先其
要旨ヲ伺定シ所有主ニ示談ヲ遂ケ借地料並借用
期限ヲ豫定シ且所要ノ地圖ヲ作り伺定ノ顛末ヲ

約記シテ之ヲ管理スヘキ府局ニ請求スヘシ但其
地所官用若クハ官有ナルトキハ唯所要ノ地圖ヲ
作り前段ニ準シテ請求スヘシ

第十二條 府局ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキ
ハ之ヲ調査シ支障ナクハ直チニ伺出ツヘシ但其
地所地方廳ノ所管ナルトキハ其承諾書ヲ添フヘ
シ

府局ニ於テ借用セントスルトキモ亦第十一條及
前項ノ手續ニ據ルヘシ

不用地處分ノ順序

第十三條 各廳作業廳モニ於テ使用ノ地所不用ニ歸
包含スシタルトキハ其理由ヲ約記シテ之ヲ管理スル府

局ニ交付スヘシ
第十四條 府局ニ於テ前ノ條交付テ受ケ又ハ直接
使用地ノ不用ニ歸シタルトキハ尙將來ノ用否ヲ
審議シ返地若クハ預ケ地ノ目的ヲ定メ其事由ヲ
具申シ又或ル場合ニ於テハ賣却ノ方案ヲ伺出ツ
ヘシ

正誤 ㊦

達第九十七號海軍病院條例第十一條「看病夫」ノ下及
第十三條「主廚」ノ下ニ「廚夫」ノ二字ヲ脱ス
達第九十九號海軍病院軍醫部員服務通則改正項目
中「第十條」ノ下ニ「軍醫部長ニ稟議シテ」ノ九字ヲ刪除

百二十七

海軍省

シ「ノ」十六字ヲ脱ス

達第一百一號海軍造兵廠定員表中合計百二十六人ハ
百二十七人ノ誤
達第一百二號海軍火藥工廠定員表中合計五十二人ハ
五十三人ノ誤

明治二十二年四月二十六日

海軍大臣官房主事

達第百十一號

明治十七年十月丙第百四十二號軍艦職員條例第一條中「一警吏」ノ三字及第百九十條全文ヲ削除シ十九年六月省令第五十四號運用術練習艦條例第十一條ヲ削除ス

明治二十二年四月二十九日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第百十二號

明治二十年十月省令第二十七號海軍外國旅費定額表附則左ノ通改正ス

明治二十二年四月二十九日 海軍大臣伯爵西郷從道

百三十八 海軍省

附則第九項中「行軍ニ準シテ」ノ六字ヲ「總テ實費ヲ」

ノ五字ニ改ム

同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

一外國航海中陸地療養ノ未歸國若クハ歸艦スル者ニハ總テ實費ヲ給ス犯罪ニ依リ歸國若クハ歸艦スル者モ亦之ニ準ス

達第百十三號

海圖水路誌供給概則第十五條「司令長官」ヲ「參謀長」ト改メ第十七條以下ヲ追加スルコト左ノ如シ

明治二十二年四月二十九日 海軍大臣伯爵西郷從道

第十七條 各艦船ニ於テ海圖水路誌ノ引換ヲ要ス
ルトキハ航海長其要求書ヲ作り艦長ノ捺印ヲ受
ケ文庫主管ニ送付スヘシ

第十八條 各鎮守府ニ屬セサル艦船各艦ニ於テ海
圖水路誌ヲ要スルトキハ東京ニ在テハ水路部ニ
東京外ニ在テハ最近ノ鎮守府文庫ニ請求スヘシ
水路部ニ於テ差支ナキトキハ之ヲ貸渡スヘシ
鎮守府文庫ニ於テハ豫備圖誌ノ中ヨリ參謀長ノ
許可ヲ得テ之ヲ貸渡スヘシ

第十九條 艦船長又各所屬長ニ於テ秘密海圖及之
ニ關スル水路雜誌ヲ要スルトキハ海軍參謀部或
ハ鎮守府參謀部ニ請求スヘシ

達第百十四號

本年勅令第四十八號海軍衛生會議條例第二十二條
中看護手看病夫ヲ艦船營ニ配置シ及之ヲ各所ニ派
出スル事ヲ掌ルトアルハ病院定員中ノ看護手看病
夫ヲ配置派出スル義ト心得ヘシ

明治二十二年四月二十九日 海軍大臣伯爵西郷從道